

## 佳作 自分の娘のように愛された



ナランツェツェグ ホンゴルズル  
NARANTSETSEG KHONGORZUL  
国 籍 モンゴル  
職 種 機械検査  
実習実施者 藤田螺子工業株式会社  
監理団体 九州ネット協同組合

私は自分のお母さんをよく知りません。お母さんが私を最後に抱きしめてくれた時、私は二さいでした。それが最後の抱きしめだと知らなかったのです。それは最も真実で大切な愛で満たされた抱擁だと思っています。言葉では言い表せないです。その時から私は叔母の娘になりました。

叔母は、私がものごころがついたころから今まで、自分の子のように私を愛し、育ててくれました。誰もこのような心をくれるわけではありません。叱る時はちゃんと叱ってくれて、褒める時は心から褒めてくれたから、今の私がつくられたのでしょう。でも、母親がいつもそばにいてくれたらいいのに、とってしまいました。母親がいる他の人を羨ましがってしまいました。でも、母親と同じぐらい私を愛してくれる叔母がいます。これを全て理解できるようになるまで、私の思いは少し違っていました。ただ、私は叔母からたくさんの愛を受けるに値すると感じていました。

ある日、私はひどい病気になり、手術を受けなければなりません。その時、叔母が私を自分の子供のよ

うに愛してくれていることに気づきました。私は叔母の実子ではないのに、なぜ私をそんなに愛してくれるのだろうと驚きました。叔母のおかげで、私は当時感じていた感情に対処することができました。それは私に大きな勇気を与えてくれました。もっと生きたいと思うようになりました。

二十さいの時、「あなたの夢は何ですか」と尋ねられました。その時私は、愛情が足りない親がいない子供たちに、愛情を与えられる人になりたいと言いました。

私の最大の夢は、モンゴルで孤児院を設立することです。叔母さんのように子供たちに愛情を与えられる人になることです。

もちろん孤児院の設立は難しいですが、心から望んでいます。私が日本でじっしゅうするために来たことが、架け橋になると思っています。そこでは、私と同じように愛され、守られ、笑っている子供たちに毎日会うことができますと確信しています。

叔母のおかげで、やさしく親切な女性になって社会に良いえきょうを与えていきたいと思います。けんこうにそだって大人になり、最も重要なことは、社会に対して正しい考えと正しいたいどを持つ人になることです。

叔母さん、私に多くの良いことを教え、愛してくださってありがとうございました。